

# 東京後楽ロータリークラブ週報

The Rotary Club of Tokyo Koraku Weekly Report



ロータリーは  
世界をつなぐ

「3Cで、新たな時代を創ろう」  
~Chance・Challenge・Change~  
「ロータリーは世界をつなぐ」

2019年~2020年度 会長  
中村 才博

2019年~2020年度 国際ロータリー会長  
マーク・ダニエル・マローニー

職業奉仕月間

2020年1月28日発行 (No.939)

**第939 例会**  
卓話「すべての人に優しい国に」  
筆談ホステス 前北区区議会議員  
齊藤 りえ 氏

鈴木康介氏(会津若松城南)  
アンディ・ウー氏(鈴木康介氏ゲスト)  
出席率:78.04% 前例会修正後:82.93%

**ニコニコBOX**

鈴木康介氏(会津若松城南):本日は、快く参加させて  
頂きありがとうございます。  
ご協力何卒宜しくお願い致します。  
小出会員:誕生日を祝って頂き、有難うございます。  
酒井会員:新年おめでとうございます。  
賀状お礼のニコニコです。

ミリオンミールズ:2,132円 本年度合計:666,165円

**例会案内**

2月4日 「イニシエーション・スピーチ」  
新聞 祐一郎 会員  
「地区大会について」  
2月11日 祝日休会

**CLUB NEWS**

- ◆ 昨年12月7日(土)に開催した「第17回親子ふれあいチャリティーコンサート」の記事と写真が、藤田会員を通じてロータリーの公共イメージ向上の一環として、第2580地区ホームページからSNS発信されております。
- ◆ 1月29日(水)ハイアットリージェンシー東京で開催される「地区ロータリー財団セミナー」に、知花次年度会長、菊川次年度幹事と高橋次年度ロータリー財団委員長が出席致します。
- ◆ 昨年11月13日に開催された「北分区合同例会(IM)」のDVDがホストクラブである東京本郷ロータリークラブより届いております。閲覧希望の会員は、事務局までご連絡願います。
- ◆ 第2530地区[福島県]より復興フォーラムの案内が届きましたので、参加希望の会員は詳細を事務局までお問い合わせ願います。

3月21日(土) 第1日目

- ①「被災地現状視察スタディツアー」
- ②「参加者懇親会」

3月22日(日) 第2日目

「復興フォーラム」 於 パルセ飯坂

申込締切 2月7日(金)

**前回例会**

第938回例会  
「和楽器」

邦楽演奏家 ミカド 香奈子 氏

**出席状況**

第938回例会

出席 32名 欠席 13名  
ビジター 1名 ゲスト 1名

**国際ロータリー第2580地区  
2019-20年度地区大会プログラム(概略)**

2020年2月13日(木)

本会議 < 沖縄コンベンションセンター劇場東 >

13:00 登録開始

14:00 開会点鐘

来賓紹介及び参加クラブ紹介(地区外・地区内)

カウチトーク及び地区の現状報告

17:00 記念講演

18:15 閉会点鐘

懇親会 < 沖縄コンベンションセンター展示棟 >

18:45 開宴

祝宴 アトラクション

20:45 閉宴

TEL: 03-5940-3355 FAX: 03-3947-4010 E-Mail: koraku@mint.ocn.ne.jp

例会 毎週火曜日12時30分 / 東京ドームホテル 電話: 03-5805-2111

事務局 〒112-0014 文京区関口2-10-8 藤田観光(株)別館内

会長 中村 才博 / 幹事 本多 信行 / 会報委員長 木津 久徳

URL <http://www.korakurotary.com>

## 第932回 例会卓話「子育てから、世界は変わる」

社会福祉法人どろんこ会 理事長 安永 愛香氏

1974年神奈川県生まれ。96年東京理科大工学部第一部経営工学科卒業。外資系金融勤務を経て98年に起業し、駅前型保育所を開設。05年に日本福祉総合研究所を設立し、事業所内・病院内で保育所を運営。07年に社会福祉法人どろんこ会を設立し、初の認可保育所「朝霞どろんこ保育園」を開設。現在は3法人で135施設を運営。高校生と中学生の2児の母です。畑仕事や野外体験を取り入れた自然保育を実践する目的で、26歳で起業し順調に事業を拡大。現在は首都圏を中心に全国135カ所の子育て支援施設を運営。業界の体質にも疑問を感じ保育士はどこか受け身で与えられた仕事を淡々とこなしているように見え、子どもの未来に危機感を覚えると同時に保育業界を変えたいという強い意欲が一気に湧き上がり、持ち前の行動力を発揮して開業準備に取りかかり、勤務先を退職して保育所をオープン。その後保育士の資格を取りました。行政への政策提言や保育士教育に本腰を入れる。「保育所は子どもを預かるだけの場所ではありません。大切な人格形成期に必要な体験は何かを追求し、“育てる保育”の重要性を発信しています。」



### 頼りあい、ぶつかりあい、教えあう

これから先の人生で彼らを待っているであろうたくさんの試練に対し、そっぽを向いたり逃げ出したりせずに、まずは人に尋ね、周囲を頼り、自分で前へ進むとする気持ちを育てたい。障害がある子にもやってみてほしいことはすべて経験させる。大人が指示するのではなく、兄弟姉妹が共に暮らし、自分の意志で自由に子どもの思考の補助線を引く保育士・心理士・療法士・言語聴覚士・調理員・施設長・事務員・用務員・社員・パート、そして、保護者・地域の方々。子どもを育てるすべての大人たちは、これらの役割を超え、子どもが自らの感覚や体験・労働を通して自然・ものの性質・生命の尊さ・食材や食の循環に気付けるように、そして、したいと思う活動を自ら選べるよう、環境構成し、思考の補助線を引かねばならない。「私は専門士だから」「私は調理員だから」という言葉が飛び交うダメ施設になっていないか？など常に問い続けたい。そして、生活・遊び・労働を教えあう大きな家を建てる。

### どろんこの子育て理念

にんげん力を育てます。「にんげん力」を身につけるために必要な遊び・野外体験を提案実践し、“自分で考え、行動する思考”を育みます。

### どろんこの子育て目標

センス・オブ・ワンダー 子どもが“畑仕事・稲刈り・ヤギや鶏の世話などの労働”や、“自然の中での体験”を通して、ものの性質や身近な事象・生命の尊さ・食材や食の循環に気づくことができるように、10よりも100の経験の機会を創り、子どもが“したいと思う活動”を安全に行えるように見守り、支援しています。

### 人対人コミュニケーション

園外では「すれ違ったすべての人」と挨拶を交わすことを園の約束としています。銭湯でお風呂の日、商店街ツアー、青空保育など地域交流を実施し、一人でも多くの人と挨拶を交わし、一つでも多くの仕事を目にする機会を用意し、“感じたこと・考えたこと”を言葉で、ジェスチャーで、表情で、描いて、造って、表現できる子どもを育成しています。

### 最後に私の経営マインド「走りながら考える」

産業・社会・人口・寿命の変化に合わせ、私たち子育て業界は、教育を更新しなければならない。言うことを聞く子を育てる時代が終わり、自分で考えて行動する子を育てる今の時代に、私たち教育者はどうあるべきか？考えることだけに時間を割いている暇はない。産業や社会は目まぐるしいスピードで変化し、子ども達だってどんどん成長するのだから。私たち子育てを担う大人は、まずは「次の社会を創る子どもが経験すべきこと」をホンキで考え、機会を創り、ときに修正する。走りながら考えるしかありません。スタッフ達に常にいう事は、不満は自分で解決するしかない。自分で考え貴方が行動しなさいと言ってます。また人が嫌がることをやることにより、人より多くの経験ができ人を許すことができ、人が付いてくる人になると言ってます。